



一般質問を終えて(6/17)

中学校部活の地域移行

地域を含めた民間や保護者に任せるのであれば、そうしても大丈夫という体制を財政支援も含めて整えることと託される側の合意が必要だと思います。

中学生の文化スポーツ活動が塾や習い事と同じでいいのか、という疑問はわかりませんし、家庭の経済状況などで子どもの選択にも格差が生まれることを公が旗を振ってやることに同意できない。

じゃあどうしろというのか、と反問されましたので、国が責任を持って教員を増やすか、地域の文化スポーツにお金を出す事を求めるべきだと答えました。

問題の解決方向を間違えると少子化促進策になりかねません。

学校再編・統廃合や学童保育整備

公共施設の統廃合など

原野谷では地域検討委員会が「原野谷中の場所に一貫校を」と決定後に、地元原谷から反対の要望が出ています。また答弁の中では、東中学区の南部の学校建設検討も明言されました。

一貫教育・適正規模と、教育委員会主導で方向が示されてきました。

どうい学校がどこにあることを望んでいるのか、住民目線で考えないと後で後悔することになりかねないと思います。

学童保育は、学校再編の付属物ではなく、保育同様、法律に定められた6年までの受入を市が責任持って整備する必要を強く要望しました。

動物愛護の精神で共生社会を

「猫の不妊去勢手術助成制度の見直しをする」、「動物愛護週間は市としても取り組み、啓発に努める」と回答し、前回よりは命に寄り添う活動への理解は進んだかもしれない。しかし保護や譲渡は市の責任ではないとし、命の見殺しに変わりがないのが残念です。

詳しい報告は「日本共産党市議会だより」(7月下旬発行予定)で。

採択されない意見書(文教厚生委員会)

学校給食の無償化を求める請願

不採択

介護報酬改定撤回と

再改定求める請願

継続審議

昨年度末子育て支援を求める提言を市に出した議会。文科省調査

によると、部分的にでも学校給食無償化を行なっているのは、全国1794中722自治体(全体の約4割)。そのうち完全無償がなんと547自治体(全体の約3割)にまで広がっています。しかし今回優先順位がちがうと不採択に。

文教厚生委員会の今年度テーマは「高齢者の幸せ」。訪問介護の報酬が減額になって3ヶ月、ヘルパーがいなくなり、介護崩壊してからでは遅いです。

介護報酬改悪の影響は掛川に及んでいるとは思えないとの発言に、「情けない」と発言したら「撤回を」と言われました。情けないという気持ちは変わらないので撤回しませんでした。

市は国や県からのお金や指導で誘導されていきます。上の言うとおりにやらなくてはならない事務も多いからこそ、自治体が要望・意見を上げていく事が大事だと思っています。



ギボウシ

許されない

リニア推進の知事の姿勢

鈴木新知事は選挙が終わったとたんリニア推進、工事着工の姿勢を強かに押し出しています。

横方向に掘り進む先進ボーリングは「工事を安全に進めるための安全対策水抜き工法」で水枯れリスクの高いもの。おいそれとGOサイン出しているものではありません。

6月定例会で大井議員の一般質問に、「リニア工事で水や環境の保全に目をつぶるような取り引きはしない」と回答した久保田市長。この言葉を忘れずに、自治体の長としてぶれないいただきたい。



小池晃が
お話しします!

7.15 (月・祝)

日本共産党演説会

14時開演(13時半開場)
静岡市民文化会館
中ホール

ご自宅でも
YouTubeで
視聴できます



次の会場でライブ配信します
ぜひご参加ください

- 勝川事務所(掛川市塩町3-7)
- 葛川公会堂(馬喰橋よこ)
- 大井正宅(掛川市家代2194-6)
- 山田俊廣宅(掛川市十九首41-1)
- 渡辺久次宅(掛川市海戸27)